

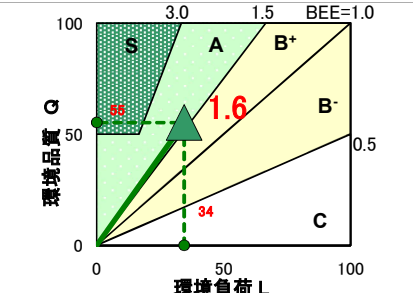
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP平塚Ⅲプロジェクト	階数	地上4F
建設地	平塚市大神字上内出2186-1外79筆	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条指定区域	平均居住人員	- 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2022年4月5日
敷地面積	13,685 m ²	作成者	-
建築面積	7,088 m ²	確認日	2022年4月5日
延床面積	27,724 m ²	確認者	-



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

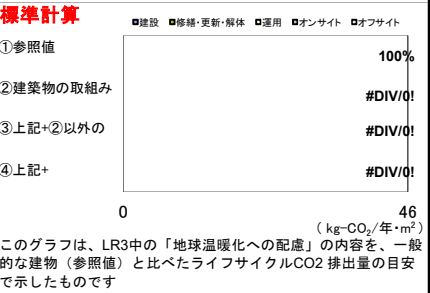
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★



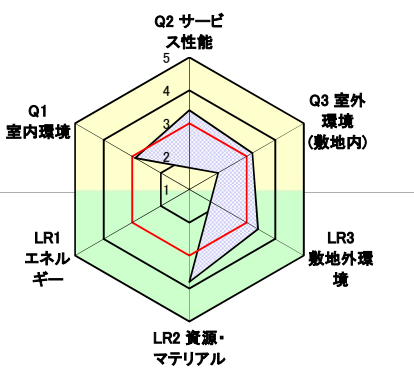
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+



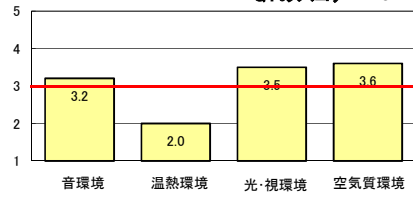
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)

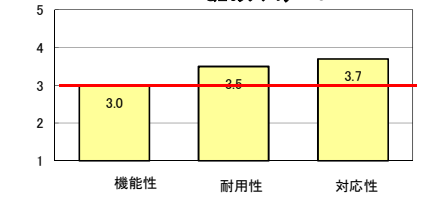
Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.9



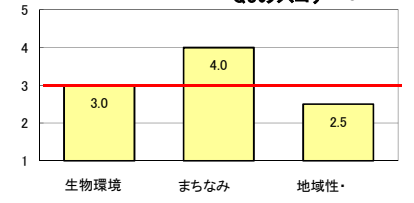
Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4



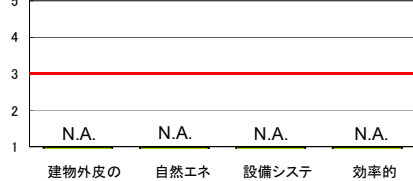
Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.2



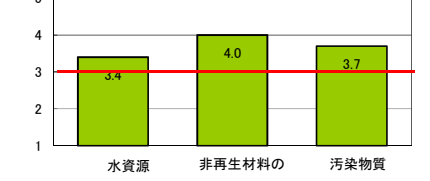
LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 0.0



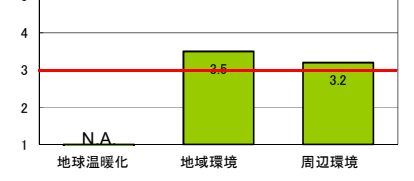
LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.8



LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・CASBEEかながわ2016年度による評価結果である。		
Q1 室内環境 ・取り入れ外気への配慮があり、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能 ・将来の用途変更の可能性等を考慮し、建物の階高、空間の形状・自由さのゆとりを計画している。	Q3 室外環境(敷地内) ・植栽による景観、視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
LR1 エネルギー ・評価対象外	LR2 資源・マテリアル ・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。	LR3 敷地外環境 ・燃焼機器の設置をなくし、大気汚染防止に配慮している。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される